※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（機械系列）

教科	工業	科目	機械製図ａ（機械製図）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	機械製図　（実教出版）						
副教材等	校内作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

立体を平面上に正しくあらわすことができる基礎的な製図の技術を修得する。まず各種製図用具を正しく使用できるようにする。次にプリント等を使い線や文字を練習し、更にそれを平面上に正しく表現できるようにする。これらを十分練習し理解させたのちにケント紙に簡単な図面（第三角法）を描く。

2　学習の到達目標

○製図に関する日本産業規格および専門分野の製図において基礎的な知識と技術を修得する。
○製作図・設計図などを正確に読み取り、図面を所定時間内に完成する。
○機械製図検定のレベルの内容を理解し、技術の向上に取り組む態度・姿勢を醸成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械製図に関する基本的・基礎的な知識を身につけつけ、ものづくりにおいて、その技能を適切に活用できる能力を身に付けている。	製図に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識の上に的確な判断を持って表現する能力を身に付けている。	機械製図に興味･関心をもち、改善や工場を目指して主体的・意欲的に取り組もうとする姿勢と実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基礎	機械製図と規格 製図用具とその使い方 図面に用いる文字と線 基礎的な図形のかき方	a: 機械製図に関する基本的・基礎的な知識を身に付け、ものづくりにおいて、その技能を適切に活用できる能力を身に付ける。 b: 製図に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識の上に的確な判断を持って表現する能力を身に付ける。 c: 機械製図に関する基本的・基礎的な技能を身に付け、ものづくりにおいて、その技能を適切に活用できる能力を身に付ける。	学習状況の観察 演習問題 プリント 提出作品の評価 定期考査	学習状況の観察 演習問題 プリント 提出作品の評価 定期考査	学習状況の観察 学習意欲・

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度